

品川区議会だより



第311号

令和7年(2025年)4月24日発行

発行/品川区議会 〒140-8715 東京都品川区広町二丁目1番36号

電話 03-5742-6810(直通) Fax 03-5742-6895

品川区議会ホームページ <https://gikai.city.shinagawa.tokyo.jp/>



三谷八幡神社(小山五丁目)

令和7年 第1回定例会

- 品川区のこのようなことが決まりました 2～3
- 議案の議決結果 4～5
- 請願・陳情の審査結果 6～7
- 意見書を提出しました 7
- お金の使いみちが決まりました 8～9
- 予算に対する各会派の意見表明 10～11
- 区政をきく(代表質問・一般質問) 12～21
- 常任委員会の活動・特別委員会の活動 22～23
- 予算特別委員会総括質疑 23
- 本会議・委員会の日程(予定) 24

表紙の写真について

(野川 悟志 様 撮影)

表紙に掲載の写真は、ご応募いただいた中から選ばれました。

品川区議会では、引き続き品川区議会だよりの表紙等に掲載する写真を募集しています。

詳しくは、品川区議会ホームページをご覧ください。区議会事務局調査係までお問合せください。

写真の掲載については確認済ですが、無断転載・転用は固くお断りします。ユニバーサルデザインに配慮した書体・配色を使用しています。



品川区国際交流推進基金を設置します

第11号議案 品川区国際交流推進基金条例

品川区の国際化・国際交流に資することを目的とした指定寄附金を受けたことに伴い、国際的な交流の推進および国際理解を深めることを目的とした事業に要する財源に充てるため、品川区国際交流推進基金を設置します。

基金の額 当初の積立額5,000万円

基金活用予定事業(令和7年度) グローバル人材育成海外派遣事業



グローバル人材の育成に向け、アントレプレナーシップ教育が盛んなフィンランドに区内在住・在学の中高生を派遣し、自己探求型のプログラム等を通して自ら学び生き抜く力を育み、失敗を恐れずに挑戦する心を醸成します。

委員会での質問

Q 基金を設置する理由について

A 子どもたちの国際交流に関する事業に充当してほしいという目的での寄附をいただいたことから、充当予定の事業を継続的に実施できるよう、基金を設置するものである。

公共の場所での喫煙を禁止します

第17号議案 品川区歩行喫煙および吸い殻・空き缶等の投げ捨ての防止に関する条例の一部を改正する条例

区民等から寄せられる喫煙に関する苦情、規制強化の要望のほか、改正健康増進法、東京都受動喫煙防止条例の趣旨などを踏まえ、公共の場所における喫煙に関する規制強化を図ります。

改正概要

現行・・・区内全域の公共の場所における歩行喫煙禁止(努力義務)

改正・・・区内全域の公共の場所における喫煙禁止(罰則なしの禁止規定)

※路上喫煙禁止・地域美化推進地区の規制～現行のまま(罰則あり)



委員会での質問

Q 条文中で定義している公共の場所における私有地の考え方について

A 条文中で定義している公共の場所の中に私有地は含まれていないため、本条例での規制は対象外となる。しかし、私有地に喫煙場所を設置する場合など、改正健康増進法において周囲に受動喫煙を生じさせないように配慮する義務が課せられているため、関係所管と連携し認知度の向上をはかるなど、対策を講じていく。

議案等審議 — 令和7年第1回定例会 —

品川区のこのようなことが 決まりました

会期36日間：令和7年2月19日～3月26日

今回審議した議案等は

区長提出議案……66件 議員提出議案……3件 請願・陳情……29件
計98件

※ 上記のうち、主な議案を以下のとおりご紹介します。

品川区子どもの未来応援基金を設置します

第20号議案 品川区子どもの未来応援基金条例

区では将来にわたり子ども等の幸福が持続する社会の実現を目指しており、当該事業に要する財源の確保および、子ども施策の更なる推進を目的として、品川区子どもの未来応援基金を設置します。

基金の額 当初の積立額25億円
令和7年度当初予算による積立額約6,600万円

基金の用途および運用

当基金は「大学生奨学金」、「食・学習支援」、「ヤングケアラー・ひきこもり支援」など、制度や分野の狭間で生じている諸課題に対応する事業等に対し、令和7年度については年間約1億9,300万円を充当します。



委員会での質問

Q 基金を活用した「体験格差の解消」として、想定される事例について

A 所得制限を設けない学習支援や子ども若者応援フリースペースでのプログラミング講座などを想定している。

議案番号	件名
59	学校教育職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例
60	幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
61	幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
62	品川区特別区税条例の一部を改正する条例
63	八潮南特別養護老人ホーム増築その他工事請負契約の変更について
64~66	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (長谷川 一也 氏、羽鳥 紀子 氏、百々 靖雄 氏)
議員提出2	品川区議会個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例
議員提出3	品川区議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

意見の分かれた議案

議案番号	件名	結果	無所属議員(50音順)														
			自(9)	民(7)	公(6)	明(4)	未(3)	来(2)	産(1)	品(1)	改(1)	維(1)	新(1)				
1	令和6年度品川区一般会計補正予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	令和6年度品川区国民健康保険事業会計補正予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	令和6年度品川区後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	令和6年度品川区介護保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	令和7年度品川区一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	令和7年度品川区国民健康保険事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	令和7年度品川区後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	令和7年度品川区介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	品川区行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	品川区職員定数条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	品川区地区計画等の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	指定管理者の指定について(大井認知症高齢者グループホーム)	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
58	学校教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出1	選択的夫婦別姓について議論を尽くすことを国会及び政府に求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○…賛成 ×…反対 (数字)は所属議員数 無所属議員は左から氏名の50音順で表記しています。

*1…自民のうち1名は議長の職務を行ったため、議決には加わりませんでした。

*2…未来のうち1名と共産のうち1名は欠席のため、議決には加わりませんでした。

*3…未来のうち1名と維新のうち1名は欠席のため、議決には加わりませんでした。

●会派名は次の略語で記載しています。

自民…品川区議会自民党・無所属の会

未来…しながわ未来(無所属・立憲・ネット)

品改…品川改革連合

公明…品川区議会公明党

共産…日本共産党品川区議団

維新…品川区議会日本維新の会

各議員の賛否はこちらのQRコードからご覧いただけます→



議案の議決結果


全会一致で可決した議案

議案番号	件名
9	令和7年度品川区災害復旧特別会計予算
11	品川区国際交流推進基金条例
13	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
14	非常勤職員の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
15	職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例
16	品川区職員の退職管理に関する条例
17	品川区歩行喫煙および吸い殻・空き缶等の投げ捨ての防止に関する条例の一部を改正する条例
18	品川区中小企業事業資金融資あつ旋条例の一部を改正する条例
19	品川区すまいるスクールの実施に関する条例の一部を改正する条例
20	品川区子どもの未来応援基金条例
21	品川区一時保護施設の設備および運営の基準に関する条例
22	品川区立心身障害者福祉会館条例の一部を改正する条例
23	品川区立知的障害者グループホーム条例の一部を改正する条例
24	品川区立知的障害者福祉施設条例の一部を改正する条例
25	品川区立発達障害者支援施設条例の一部を改正する条例
26	品川区介護保険制度に関する条例の一部を改正する条例
27	品川区公衆浴場の設置場所の配置および衛生措置等の基準に関する条例の一部を改正する条例
28	品川区後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
29	品川区手数料条例の一部を改正する条例
31	品川区道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例
32	品川区法定外公共物管理条例の一部を改正する条例
33	品川区立公園条例の一部を改正する条例
34	品川区立学校の学校医、学校歯科医および学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例
35	第二戸越幹線整備工事(取水および空気抜き設備等整備)請負契約
36	第四日野小学校校舎改築その他工事請負契約の変更について
37	浜川中学校校舎改築その他工事請負契約の変更について
38	浜川中学校校舎改築その他機械設備工事請負契約の変更について
39	浜川中学校校舎改築その他電気設備工事請負契約の変更について
40	城南第二小学校改築工事請負契約の変更について
41~47、49~51	指定管理者の指定について(八潮南認知症高齢者グループホーム、八潮南特別養護老人ホーム、北品川つばさの家、西大井つばさの家、西大井福祉園、かがやき園、戸越台在宅サービスセンター、荏原在宅サービスセンター、中延在宅サービスセンター、戸越台特別養護老人ホーム、荏原特別養護老人ホーム、中延特別養護老人ホーム、東品川高齢者多世代交流支援施設)
52	品川区長および副区長の給与および旅費条例の一部を改正する条例
53	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
54	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
55	職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例
56	品川区国民健康保険条例の一部を改正する条例
57	学校教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

付託委員会	請願・陳情件名	受理番号	結果
文教委員会	一人ひとりの子どもが大切にされる品川区を求める請願	令和7年 請願第1号	不採択
	品川区小学校における議論型授業の導入を求める陳情	令和7年 陳情第8号	不採択
議会運営委員会	オンラインでの陳情・請願の受付に関する陳情	令和6年 陳情第38号	継続審査
	議会改革提案取り下げを要求する陳情	令和6年 陳情第46号	継続審査
災害・環境対策特別委員会	防火水槽に関する陳情	令和7年 陳情第14号	不採択

採 択：区議会として、ご希望に賛同します。
趣旨採択：区議会として、ご希望の趣旨に賛同します。
不採 択：区議会として、ご希望に賛同しかねます。
継続審査：区議会として、引き続き慎重に審査します。
 (※は3月26日の本会議最終日に付託されました)

請願・陳情についての議事内容等が掲載された各付託委員会の会議録は、こちらのQRコードからご覧になれます→



下記のとおり、国会および政府あてに意見書を提出しました

【議員提出第1号議案】

選択的夫婦別姓について議論を尽くすことを国会及び政府に求める意見書

婚姻後も旧姓の通称使用を希望する人がいることから、令和2年12月に政府が閣議決定した第5次男女共同参画基本計画では、「婚姻により改姓した人が不便さや不利益を感じることをないよう、引き続き旧姓の通称使用の拡大やその周知に取り組む」ことが明記されており、各省庁では既に、免許証、パスポート等について、旧姓併記ができるように改めている。

しかし、旧姓の通称使用が法律に基づいていないために、民間公益法人の資格や金融機関の口座開設など通称使用を認めていないケースもある。また、婚姻を希望するものの、いずれか一方の姓になることにより、個人のアイデンティティが喪失されるとの意見もある。

一方で、選択的夫婦別姓制度を採用した場合、親子や兄弟姉妹の別姓につながり、子どもへの影響を懸念する声や戸籍制度を通じた手続きの煩雑さを懸念する声も存在している。

最高裁判所大法廷は、平成27年と令和3年の2度にわたり、夫婦同姓制度は憲法に違反していないと判断しつつも、夫婦の姓に関する制度の在り方は「国会で論ぜられ、判断されるべき」と判示しており、「国民の様々な意見や社会の状況の変化等を十分に踏まえた真摯な議論がされることを期待する」との意見も記載され、国会に委ねられた。その後、十分な議論が進んでおらず、選択的夫婦別姓を求める訴訟が相次いで提起されている。

よって、品川区民を含む全ての国民が、誰もが自分らしく生きられるよう、国会及び政府に対し、国民の様々な意見や社会状況の変化等を十分に踏まえた真摯な議論を尽くされるよう、強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年2月21日

品川区議会議長 渡辺 ゆういち

請願・陳情の審査結果

付託委員会	請願・陳情件名	受理番号	結果
総務委員会	日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書提出を求める請願	令和7年 請願第3号	不採択
	適格請求書等保存方式(インボイス制度)の廃止、もしくは見直しを求める請願	令和7年 請願第4号	不採択
	政党機関紙の庁舎内勧誘行為における庁舎管理規則の徹底を求める陳情	令和7年 陳情第11号	不採択
	法令を順守した行政手続きを区長に求める陳情	令和7年 陳情第15号	不採択
区民委員会	「選択的夫婦別姓制度の早期実現を国に求める意見書」提出を求める請願	令和7年 請願第5号	不採択
	行政が運営主体となる新規火葬場建設を求める陳情	令和5年 陳情第31号	継続審査
	区内独自でインボイス制度に係る実態調査実施の陳情	令和7年 陳情第4号	不採択
	「中小企業の景況」でインボイス制度に係る影響調査を要望する陳情	令和7年 陳情第5号	不採択
厚生委員会	就職困難な新卒者への支援を求める陳情	令和7年 陳情第13号	不採択
	国に対して訪問介護の基本報酬引き上げを求める意見書の提出を求める請願	令和7年 請願第6号	不採択
	支援区分5と6の重度障害者が入居できる障害者グループホームの整備を品川区長に求める陳情	令和6年 陳情第57号	不採択
	ネズミ駆除対策を要望する陳情	令和7年 陳情第7号	不採択
	世代間の分断を助長する「長寿祝い金」事業の廃止及び、住民税均等割りの減税を求める陳情	令和7年 陳情第12号	不採択
	障害者グループホームの公平公正な入居選考を区に求める陳情	令和7年 陳情第16号	継続審査※
建設委員会	国に羽田新ルートに関する住民説明会を開催するよう求める請願	令和6年 請願第14号	継続審査
	羽田新経路の実状について国に住民説明会の開催を求める請願	令和7年 請願第2号	継続審査
	戸越公園駅北地区再開発計画の見直しを求める請願	令和7年 請願第7号	継続審査※
	羽田新ルート飛行航路の即刻中止を求める陳情	令和5年 陳情第20号	継続審査
	羽田新ルート反対に関する陳情	令和5年 陳情第29号	継続審査
	森澤恭子区長が羽田空港機能強化による都心飛行ルートについて、「固定回避を国に要請」としたことの撤回を求める陳情	令和5年 陳情第34号	継続審査
	羽田新ルート飛行航路の固定化回避の検討状況を区民に説明するよう国交省に求める陳情	令和5年 陳情第43号	継続審査
	区内老朽マンション修繕における助成の陳情	令和7年 陳情第6号	不採択
	私はどうしていいかわかりません 品川区長森澤恭子さんに小山三丁目第一地区・第二地区再開発中止を求める陳情	令和7年 陳情第9号	不採択
	法的権利・義務ナシ。行政認可ナシ。地権者所有資産評価・補償決定権ナシ。組合職員ナシ。小山三丁目第一地区・第二地区再開発準備組合の即時解散を求める陳情	令和7年 陳情第10号	不採択

中学校の標準服(制服)購入費・ 修学旅行費を無償化します！

制服購入費 **23区初** 修学旅行費 **都内初**

区立中学校標準服(制服)を公費で一括購入し、入学前に受渡すことで所得制限のない無償化を実現します。また区立学校9年生(中学3年生)で実施する修学旅行に係る費用を補助することで、所得制限のない無償化を実現します。

これらの取組により、保護者の負担軽減を図り、子育てしやすい環境を整備します。



73(ナナサン)歯科健診を 実施します！

75歳以前においてもフレイル予防の必要性があるため、73歳の国民健康保険加入者を対象に歯科健診(口腔内診査およびフレイル評価)を実施します。実施回数は年1回で、受診者の自己負担はありません。
※フレイルとは…年齢とともに心身の活力が低下し、要介護状態となるリスクが高くなった状態のこと



デジタルプラットフォームを 導入します！

これまで区民の皆様が区に意見を届ける手段は来訪・電話・メールが中心でしたが、従来の方法では声を上げにくいと感じている方々もいました。そこで、時間・場所を選ばずに利用できるデジタルプラットフォームを活用し、区で設定したテーマについて、ウェブ上で意見を募集します。得られた幅広い意見やアイデアを基に議論等を踏まえ、政策立案へつなげます。



新たにデジタル商品券を 発行します！

現金を持たない人がいる背景から、従来の紙の商品券に加え、新たにデジタル商品券を発行します。またデジタル商品券の利用店舗を募集することで、商店街のデジタル化を促進し、キャッシュレス決済に慣れている若者など新たな顧客層の獲得を図ります。



障害児者の介護タクシー 利用料等を実質無償化します！

介護タクシーの乗車には運賃とは別に予約料等の支払いが発生し、移動に車いす等を使用する方の経済的負担が大きくなっていました。そうした方が介護タクシーを利用する際に発生する予約料・迎車料・基本介助料を実質無償とする利用補助券を月あたり4枚交付することで、外出にかかる経済的負担を軽減し、社会参加の促進を図ります。



避難所の生活環境を 改善します！ 23区初

スフィア基準を踏まえて国の避難生活支援に関する指針やガイドラインが改定されました。これを考慮し、水循環型シャワーや間仕切り付き段ボールベッドを導入するとともに、ドライシャンプーや温風サーキュレーターなど多様な避難者に必要な物資の確保を行います。

※スフィア基準とは……災害や紛争の被害者に対する人道支援活動のために策定された「人道憲章と人道対応に関する国際的最低基準」の総称



お金の使いみちが決まりました

令和7年度予算審査のあらましをお知らせします

2月21日の本会議において、予算特別委員会を設置し、令和7年度予算および令和6年度補正予算の審査を付託しました。慎重審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。

予算の内訳は下記をご覧ください。左ページでは主な事業をご紹介します。

予算特別委員会の構成は、以下のとおりです。

■ 委員長：石田 秀男 ■ 副委員長：ゆきた 政春、山本 やすゆき

■ 理事：鈴木 ひろ子、筒井 ようすけ、松本 とさひろ ■ 委員：議長を除く全議員

* 令和7年度予算に対する各会派の意見表明は10~11ページに、総括質疑は23ページに掲載しています。



一般会計予算

2,347億6,300万円

特別会計予算総額

749億9,531万2千円

令和7年度予算

(単位：千円)

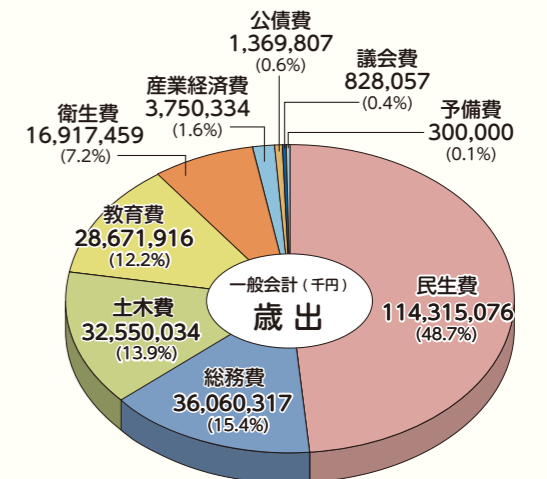
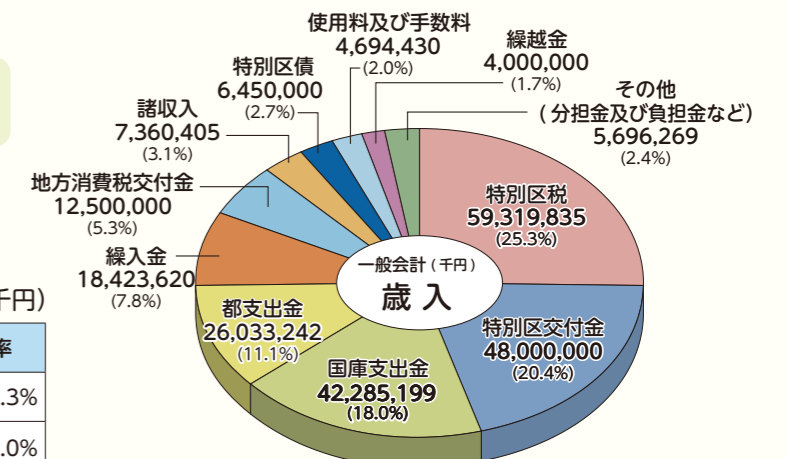
会計	予算額	前年度当初予算額	伸率
一般会計	234,763,000	203,656,000	15.3%
国民健康保険事業会計	34,384,515	36,591,886	△6.0%
後期高齢者医療特別会計	11,000,237	10,793,359	1.9%
介護保険特別会計	28,110,560	28,238,672	△0.5%
災害復旧特別会計	1,500,000	1,500,000	0.0%

令和6年度補正予算

(単位：千円)

会計	補正額	最終予算額
一般会計	11,806,086	221,366,007
国民健康保険事業会計	260,628	36,852,514
後期高齢者医療特別会計	△87,261	10,706,098
介護保険特別会計	555,220	28,793,892

令和7年度一般会計予算の内訳



※こちらは令和7年度の新事業になります。詳細が決まりましたら区ホームページや広報しながわで紹介いたします。

各会計に対する各会派の賛否

会計	結果	自民	公明	未来	共産	品改	維新
一般会計	可決	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
国民健康保険事業会計	可決	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
後期高齢者医療特別会計	可決	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成
介護保険特別会計	可決	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成
災害復旧特別会計	可決	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
【修正案】一般会計	否決	反対	反対	反対	賛成	反対	反対
【修正案】国民健康保険事業会計	否決	反対	反対	反対	賛成	反対	反対

日本共産党品川区議団

「自己責任の社会」やこれまでの福祉削減の歴代区政を転換し、権利としての社会保障を大きく前進させる点を評価し、一般会計に賛成。

教育無償化では憲法26条を引き、制服代・修学旅行費の無償化、大学生の給付型奨学金。高齢者・障害者施策では、地域包括支援センターの検討、補聴器購入費助成額の2倍化、入院中紙おむつ代の所得制限撤廃と増額など、住民運動と共産党の議会論戦で求めてきたものが多数実現。子育て支援でも「子育ての社会化が必要」と、第一子の保育料、すまいるスクール基本利用料無償化等が実現。また、障害を親の責任とせず障害児通所施設等の利用料無償化等が盛り込まれた事を評価。ジエングー平等は新年度に推進計画が策定されるが、更なる前進を期待する。

品川区議会自民党・無所属の会

令和7年度予算案では新庁舎建設等の特殊要因を除くと5.7%アップの伸び率として過去最大の予算となりました。人を基軸として予算編成を磨き上げ捻出した20億円余の財源をウエルビーイング予算として大胆かつ重点的に予算を振り分けており評価致します。会派としては、来年度予算編成の過程において、区長への予算要望をはじめ、部課長へは、各項目に対する勉強会や意見書の提出などをして参りました。民間喫煙所の助成拡大・子どもの食の支援・第1子保育料の無償化・私立幼稚園保護者補助金の拡充・介護職員等住まいの支援・73歯科健診の実施・障害児の通学支援・中学生標準服の無償化など、会派からの要望が多数予算化されました。一方で当予算委員会での理事者答弁において予算の積算や内訳説明で未定や今後の検討との発言が目立ち審議に疑念が生じたケースが見受けられ、またプレス発表前の情報漏洩もルールを守ってきた議会側としては複雑な心境であり、こちらも執行側と議会側との信頼関係の構築に影響を及ぼします。議会と行政の信頼維持のため区長をはじめとする執行部、行政サイドの認識、コンプライアンスの徹底、今後の答弁をはじめとする議会対応の改善を要望し、意見表明とします。

品川改革連合

令和7年度の一般会計、国民健康保険事業会計と、後期高齢者医療・介護保険・災害復旧の特別会計の各予算に賛成し、共産党の予算修正案に反対します。商売に活気が戻ったものの、国民大半の収入が増えない中で、税金や社会保障の負担増、競争や異常な円安で光熱費や物価の高騰が続き、多くの国民の家計と企業経営は悪化が続いています。買い控えや節約で消費が減少、中小企業は値上げ出来ず人手不足と資金難で廃業や倒産が増えているので、区は公平な支援をして頂きたい。また介護・保育・幼稚園関係者の賃上げと労働環境を改善すると共に、家族が、子ども・高齢者・障がい者を、予約なしで何時でも預けられる施設の開設をして頂きたい。そして羽田新飛行ルートの変更と、ふるさと納税制度の改善を国に働き続けて頂きたい。高額所得者には社会保障費の負担増をお願いし行き詰まる福祉を支えて頂きたい。さらに都が採用する若手教員や職員を区が独自に採用し、離職ゼロを目指すために災害待機寮を増やすべきです。また費用が倍近くになった新庁舎建設はバブルが治まるまで延長すると共に、深刻化する不登校・いじめ・教育格差を改善して、子どもたちが社会で生き抜いて行ける教育をするべきです。

品川区議会公明党

公明党の理念である「生命・生活・生存を最大に尊重する人間主義」の具現化、「貯蓄ゼロでも不安ゼロ」の社会を目指す考え方に對し、区長は「弱者を救うのではなく弱者を生まない社会」「人間が自分らしく暮らしていく上で不可欠な生活の基礎となる行政サービスを所得制限なく全てのの人に提供する」社会を築いていく、と応え、ベシツクサービス論も踏まえ編成し提出された予算案には、会派が取り組んできた所得制限のない中学校標準服・修学旅行費、第一子保育料、私立幼稚園保護者補助金、給付型大学奨学金、終活支援サービスの無償化等が計上された他、朝の児童の居場所確保・朝食支援、子ども・若者の区政参加、高齢者等住まい支援、障がい者生活介護延長、5歳児健診、骨粗しょう症検診、路上喫煙対策、妊産婦・高齢者歯科健診、避難所機能強化、公共交通、被爆ピアノ演奏等の事業予算が組まれた。予算審査では、火災対応、道路下空洞対策、トイレトラック、高齢者等見守り・居住支援、デフリンピック、防犯器材、舟運広域展開、学校給食・標準服と地域取扱い店、学校改築等について指摘・提案した。予算執行及び今後の施策展開に向け真摯に受け止め、区政に反映されるよう要望する。

品川区議会日本維新の会

品川区議会日本維新の会は、今回の予算案を先進的なものとして高く評価しておりますが、一方で質疑の中でいくつかの指摘をさせて頂きました。第一に、将来の財政シミュレーションの必要性です。行政運営においては高齢者、現役世代のみならず、投票権のない、或いはまだ生まれていない将来世代の事も熟慮するよう求めます。また、各種施策の目的に遡って議論する事が重要です。事業単体では価値が認められる場合でも、根源的な目的・課題を見つめ直すと事業に対する見方が変わり得ると考えております。総括質疑では、先進的な事業の中には既存制度と思われぬ形に対立するものがあるという事例を取り上げさせて頂きました。利用者の声から顕在化した懸念を前向きに政策形成のブラッシュアップに活用して頂ければと考えます。その他審議においては、病児保育の拡充、入学手続き・すまいるスクール登録手続きの電子化、児童の長期休業期間中の朝の居場所確保、区民保養所の見直し、自転車の交通事故予防、標準服の区内共通化等を取り上げました。区におかれましては、これらについて検討され予算の執行や今後の施策に反映して頂くよう要望し、品川区議会日本維新の会の意見表明と致します。

しながわ未来（無所属・立憲・ネット）

R7度予算は当会派の政策要望を取り入れ、プレミアム付デジタル商品券等の区内経済の活性化推進、産後ケアサービス予約のオンライン化、孤独孤立対策の推進、認知症検診の対象年齢の年齢拡大等子育て世帯や高齢者・障害者の区民生活支援強化、中学校標準服無償化等の学校教育強化、女性や若者などの多様な視点での災害対策の強化等防災対策強化、公契約条例制定等、特徴的な施策を盛り込み、変化の激しい時代のニーズを捉え、柔軟に対応した積極予算としたことを評価いたします。今後も区民福祉の向上に向けAIやIoTなどの最先端技術の活用や、利便性・効率性向上につながるデジタル化のさらなる推進、産前産後子育て支援の充実、学校教育の充実、障害者福祉・高齢者福祉の充実、地域経済活性化施策の推進、防災対策の強化、環境対策の推進、庁舎建て替え、羽田新ルート問題、多様性の推進、職員人材育成強化、デジタル地域通貨やポイントサービスの推進など、各課題への積極的な取組を着実に進めるとともに、当会派所属議員が質問の中で指摘・提案した各項目を真摯に受け止め、予算執行することを要望します。今後も引き続き、多様なニーズに迅速かつ柔軟な対応をしていただく様お願いします。

令和7年度予算に対する各会派の意見表明

※各会派から提出されたものを原文のとおり掲載しています。

代表質問

まつざわ 和昌 議員 (自民)



施政方針について

厳しい状況に置かれた現役世代をどう支援するのか見解を。

第1子保育料の無償化や中学校標準服の無償化など、負担軽減につながる取組を加速していく。

品川区役所で働く職員の誰もが生き生きと働ける職場を、どのようにつくり上げていくのか見解を。

具体的な活動や成果目標を盛り込んだ戦略を定め、働きやすい職場づくりと人材育成を一体で進める。職員の増員や配置など、人材に対する見解を。

森澤区長の就任以来積極的に増員をしている。今後も、BPRなどの業務改善や適材適所の人員配置と合わせ、組織の活性化と区政の

区政をきく

(代表質問・一般質問)

代表質問とは、会派を代表した議員が、区長の施政方針などに対して行う質問です。品川区議会では、通常、第1回定例会で行われます。また、一般質問とは議員が、区の行政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問です。各定例会で行われます。

令和7年第1回定例会では、区政全般について、5名の議員が代表質問を、8名の議員が一般質問を行いました。以下、概要をお知らせします。

一般質問

2月20日(木)	ひがし ゆき	議員(未来)
おぎの あやか	議員(無所属)	
澤田 えみこ	議員(自民)	
このの 孝子	議員(公明)	
2月21日(金)		
木村 健悟	議員(未来)	
西村 直子	議員(自民)	
安藤 たい作	議員(共産)	
やなぎさわ 聡	議員(無所属)	

代表質問

2月19日(水)	まつざわ 和昌	議員(自民)
若林 ひろき	議員(公明)	
大倉 たかひろ	議員(未来)	
2月20日(木)		
鈴木 ひろ子	議員(共産)	
須貝 行宏	議員(品改)	

会派名は次の略語で記載しています。

自民……品川区議会自民党・無所属の会	公明……品川区議会公明党
未来……しながわ未来(無所属・立憲・ネット)	共産……日本共産党品川区議団
品改……品川改革連合	維新……品川区議会日本維新の会

今年度予算における物価高騰の対応について

着実な推進を図っていく。事務事業評価の成果が区民の皆さんにも分かりやすく伝わるよう、更なる工夫を。

区民に分かりやすく伝えていくことも大切な視点であり、区民に分かりやすくお示しできるような検討を進めていく。

今年度予算はインフラ整備等の高騰分などをプラスに考えた予算になっているのか。

資材高騰等の上昇に対応できるよう予算措置を講じている。八潮市のような事故を起こさないよう老朽化している設備の補修や更新など、優先順位をつけているのか。地盤リスクを把握しているのか。どう条件を考えて調査しているのか。陥没した際の緊急連絡体制はどうか、それぞれ見解を。区が管理する道路において、これまで空洞調査およびAIを活用した路面点検の結果を再確認し異常がないことを確認。優先順位について、舗装修繕計画、橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に実施。地盤調査は、都市計画道路等で新たに道路整備を行う際、地盤調査

高年齢福祉について

学校改築計画は今後どうなるか。見直し期間と捉えれば、三木小学校のように学校改築が難しい学校等に議論する時間を充てるべき。

今後建物老朽度、就学人口の動向や地域バランスなどを総合的に勘案して進めていく。

高齢者が民間のジムに通うことに補助金を。健康ポイント事業をさらに発展することへの見解は。健康センターにおいて民間がジム運営のノウハウを生かした高齢者向けプログラムを多く展開しており、今後も充実させる。健康ポイントアプリは、多くの方にご活用いただけるよう啓発に努めていく。

高齢者グループホームとの合築や保育園の削減などにより、土地をつくり出すことを計画的に進めていくことが必要では。今年度より土地所有者に向けたセミナーを開催。制度の周知を図り、区有地、都有地の活用等も含め、

防災について

用地の確保に努める。今回、段ボールベッド等の大きな備蓄に踏み切った理由は、劣化が進む備蓄品を今後どうするか。

防災直後の避難所の開設の段階から共助により生活環境の整備が行える体制を充実していく。劣化などの状態に応じ段ボールベッドを組立て訓練用に使用する。

教育について

無償化が進む中並行して物を大切にすることを育む教育を推進するべき。制服や文房具を配布する同時に、3Rの活動も地域や企業と連携して進めることが重要では。引き続き意識の醸成に努める。福祉部と連携し、新たに開設する障害者就労支援施設の事業として、標準服リユース事業の実施を予定している。

奨学金に充てる寄附金はどのようにして集まったのか。対象者選定で面接等を考えており、地域貢献等がポイントになると聞かすが、消防団入団も選定候補にいれるべき。区民から遺贈という形で約25億円多額な寄附を頂いた。地域の安全に大きく寄与する消防団活動も含め検討を進める。

代表質問
若林 ひろき 議員
(公明)



政策や財政について

問 施政方針の「他者と区別されずにサービスを使える社会」は、財政の優先順位を含め、分断を和らげ連帯を生む仕組みづくりだと共感する。その考えをメッセージとして添え、分かち合いや連帯の輪を広げていただきたいが区の所見は。

答 施政方針の考え方と議員が掲げる「ベーシック・サービス」の考え方は軌を一にするものと認識する。全ての区民が所得にかかわらず必要なサービスを受けられるよう、きめ細かな施策を展開していく。

問 子育て支援について
保護者の仕事等の状況により、登校時間前に学校前で待機したり、朝食を取らなかつたりする児童が

いる。そのため、朝の児童の居場所の確保と、学校や子ども食堂での朝食支援を求めたが、取組は。

答 朝の居場所確保については1学期の早い時期から区立小学校3校でモデル事業を開始し、検証等の後秋頃を目途に全校展開を目指していく。朝食支援は、おにぎり等を無償で配布するほか、多くの子ども食堂で、地域と企業、区が連携し、翌朝の朝食を事前に配布する。

問 福祉について
大人も子どもも生活等に不安を感じた時点で即相談できる窓口等の存在を、さらに広く知らせては。

答 令和7年度より支え愛・ほっとステーションの相談員を順次増員し、高齢者だけでなく多世代に向けて展開していくため周知を図る。

問 防犯について
区が行っている防犯カメラ等の購入費用一部補助について、対象機器や補助額を拡大しては。

答 都が補助事業を開始すると聞いており、情報を把握しつつ検討する。

問 都市間交流について
昨年災害時相互援助協定を結んだ飯田市との関係性構築等の展開は。

答 リニア開業を見据え、住民同士の「顔の見える関係」をさらに深化させ、防災、産業など多様な分野での交流を推進していきたい。

高齢者支援について

問 終活支援について、品川区社会福祉協議会の事業があるが、登録料等の負担が課題だ。今後の取組は。

答 品川区社会福祉協議会の「あんしんの3点セット」の初回契約手続支援料等を無償化するなど、区としての施策を拡充していく。

問 障がい児者支援について
デフリンピックは認知度向上が課題だ。様々な機会を捉え、区の挨拶に手話を取り入れてはいかがか。

居住支援について

問 高齢者の住まい支援は、住宅確保要配慮者とオーナー双方の安心確保の施策展開が必要だ。入居から退去までの支援強化の取組は。

答 居住サポート住宅認定制度開始や高齢者の残置物処分費用負担軽減等の予算を計上した。また、要配慮者が入居するセーフティネット住宅等の家主に対し、損害保険費用を区が負担する。

平和について

問 被爆ピアノ平和コンサートの開催など、非核平和に向けた取組は。

答 次世代への非核平和に向けた取組と思いを絶やさず継承していくため、ご提案の被爆ピアノでの演奏会を令和7年度に実施予定であるほか、様々な手法を検討していく。

(その他の質問)
・子ども・若者の区政参加について
・人権について

代表質問
大倉 たかひろ 議員
(未来)



DXを活用した施策について

問 今後の東京ポイントおよびデジタル地域通貨へのブランドデザイン、および今後の行政施策への利用等の展開について見解は。

答 デジタル地域通貨への展開についてはデジタル商品券の運用状況や東京ポイントの動向等を注視しつつ、他の行政サービスへの活用等も含め引き続き研究を進める。

問 子どもと子育てを支える取り組みについて
新中学1年生から旅行費用の積立てがなくなると聞いたが、令和7年度だけでなく、今後継続して続けるということでのよいのか。学校現場の声を聞き、物価高騰に応じて予算を増やしていくことがふさ

問 朝の児童の居場所確保・朝食支援について伺う。利用は事前予約とするのか。担い手や方法については。朝食の調達、管理など実施方法は。予約制で食材が残らないようになるのか。家で朝食を食べて来ることができない子どもたちも、早くから学校に来てしまうということを懸念する声もある。朝早く家を出た子どもが無事に学校に着いているのかどうかという子どもの安全についても不安の声があるが、区の見解は。年度内に全校展開を目指すということだが、3校での試行から全校展開までの検証

答 わしいと考えるが、区の見解は。修学旅行の無償化について、令和8年度以降の実施については、費用等も含め検討していく。

問 中学校標準服の支給方法について、5年生から制服を変える学校があり、学校関係者や保護者からは、5年生からの支給を要望する声がある。より効率的に活用するために、柔軟な配付方法を要望する。区の見解は。

答 中学校の標準服の無償化について、現在、義務教育学校の対象学年を含め、実施方法等について検討を進めている。

問 から実施までのスケジュールは。当事業は、児童の安心・安全を目的に実施するため、利用状況の適切な管理が必要ことから、事前登録制を導入する予定。運営は委託を予定し、自学学習等の見守りを行う。朝食提供については事前に需要調査を行い、当日に調達した食品を過不足なく提供できるように努める。家庭で朝食を取ることが可能な児童の利用については、試行期間中に検証する。登校時の安全確保に関しては、教育委員会と緊密に連携し、万全を期していく。スケジュールは、朝の居場所については、1学期の早い時期から区立小学校3校でモデル事業を開始。課題分析と検証後、秋頃を目途に全校展開を目指していく。朝食提供は、モデル実施3校で開始し、段階的に拡大していく。

問 地域コディネーターの柔軟な働き方、処遇の改善、属人的にならない取組等について質問を通じ求めてきたところだ、来年度に向けての検討状況は。

答 来年度に向けて、学校地域コディネーターの勤務日数や時間の選択肢を増やすことで、柔軟な働き方を可能とするともに、時給の増額により処遇の改善を図ることとする。学校地域コディネーターの仕事の一部をアシスタントコディネーターが担うなど、組織的な運営の周知徹底を行っている。

問 誰もが生きやすい品川区に向けた取り組みについて
知的障害児者が参加できるようなスポーツ教室やスポーツイベントの実施、障害のある方も障害のない方も一緒にイベントを企画し、パラスポーツやデフスポーツと併せて交流を行うことで普及啓発にもつながると考えられる。こうした知的障害者が参加できるスポーツ、運動、体を動かす機会や交流の機会の提供について区の見解は。

答 区はこれまで、知的障害の方が定期的に運動できる幅広い運動機会の提供を行ってきた。引き続き、知的障害の方も含めて、多くの方が参加できるインクルーシブなスポーツイベントを開催していく。今後も継続して知的障害の方にもとより、障害の有無にかかわらず誰もがスポーツに親しめる環境を創出し全ての人がつながり支え合う共生社会の実現を目指していく。

(その他の質問)
・安心安全を守る取り組みについて

鈴木 ひろ子 議員 (共産)



インボイス廃止を国に求めよ。また、区としてインボイスの影響調査をすべきだがいかがか。

インボイス制度は、国税制度に関わる事項であることから、国政において議論すべきものと認識している。今後も国や社会経済情勢の動向を注視していく。また今後、中小企業庁が事業者向けの調査を実施予定とのことであるため、区としてその調査結果や国の動向等を把握していく。

区として省エネルギー対策・業務改善設備更新助成金を継続するよう求める。

今後の政府の取組やエネルギー価格の動向などを注視しつつ、引き続き必要な事業者支援策を検討していく。

軍拡ではなく、対話と包摂こそ平和への道 非核平和都市品川宣言40周年の今、被団協のノーベル平和賞を力に核兵器禁止条約批准に向けて行動を

戸越銀座等で、なぜ住民の緊張を高める、弾道ミサイルを想定した国民保護共同訓練を実施したのか。実施主体である都からの依頼を受け参加・協力したものであり、地震、風水害などへの対応と同様に、

区民の安心と安全を守るために必要な訓練であると考えている。

介護崩壊につながる報酬引き下げを撤回させ、介護従事者が誇りをもって働き続けられる支援を

品川区独自の月1万円の居住支援手当は大きく評価している。しかし、申請事業所が伸びず、多くの介護事業所が受けられないのは改善が必要だ。申請しない理由をどう把握しているのか。

市内の全国の事業所で規定を統一しているため、区内事業所だけを変更することが難しいなどが挙げられている。今後は事業所への周知を図るなど、さらなる申請が進むよう取り組んでいく。

「障害のある人もない人も安心して自分らしく暮らせる社会」へ、中重度者・医療的ケア児者の施設を区が整備計画を立て具体化を

重度障害者や医療的ケア者を対象としたグループホームの整備計画と具体化を早急に行うよう求める。運営事業者への支援などを含め、併せて検討をしていく。

賃金の平等はジェンダー平等を築く土台 女性が8割を占める会計年度任用職員の権利保障と待遇改善を

現在の正規職員と会計年度任用職員のそれぞれの人数、女性の占める割合、65歳未満、勤続年数5年以上の割合は。

2月1日現在、正規職員は2千912名、会計年度任用職員は1千608名である。会計年度任用職員のうち、女性の占める割合は約80%、65歳未満は約65%、勤続年数が5年に達する者は約33%。

雇用の不安をなくすためにも、1年ごとの公募をやめ、継続雇用とするよう求める。

会計年度任用職員の任用手法等については、国の動向なども踏まえつつ、整理・検討していく。

問題だらけのリニア新幹線は今こそ中止を 目黒川酸欠気泡は命の危険、原因究明と教室型説明会の実施を

昨年目黒川に数か月間発生した気泡が酸素濃度4%だと明らかに。区民への丁寧な説明をJR東海に実施させるよう求める。

JR東海からは、皆様の声を真摯に受け止め、今後も泡の状況等を引き続き注視するほか、調査の追加も検討し、ご説明の場を設ける等、皆様にご安心をいただけるよう努めていくとの回答があった。

代表質問

須貝 行 宏 議員 (品改)



物価高騰、賃上げ、人手不足により厳しい暮らしと経営。ならば区長や議員は給与と議員数を削減せよ

物価が高騰し続ける異常事態であるインフレ経済の中で、大半の区民の暮らしや経営が悪化しているにもかかわらず、適切な支援がでず、改善するなどの成果がないならば、区民の代表である政治家が責任を取り、身を切るの当然です。所得が増えない中小零細企業と非正規の労働者や年金暮らしの高齢者、介護・保育・看護従事者、個人事業主などにも、このように苦しいときこそ、区として可能な限りの支援をするべきです。区民を支える立場にいる区長と議

員は給与が増えて、区から支えられている側にいる大半の区民が苦しいままであるならば、区長と議員は給与と議員数を削減するべきではありませんか。

区長や区議会議員の給料や報酬等については毎年、特別報酬等審議会に諮問し、その中で物価上昇率や一般職員の給与改定の状況など様々な要因を踏まえ、審議し条例で金額を定めている。特別区人事委員会の一般職員の給与と勧告が昨年度に続き増額となったことから、区長の給与や区議会議員の報酬についても増額改定を行うべきという答申をいただき改定を行った。区議会議員の報酬や議員数は、区議会において議論するべきだ。

異常な円安と賃上げによる物価高騰とインフレを止めるように日銀に提言せよ

区長は自治体のトップです。41万人の財産、生命、生活を守らなくてはなりません。このまま異常な円安を放置して物価高騰が続けばインフレ経済になり、全区民の資産価値は減ってしまいます。また企業が賃上げをすると、企業はこの賃上げコスト分を販売価格に転嫁・上乗せするため、物価がまた

上昇します。大半の区民の暮らしと経営はもつと苦しくなりますので、低金利をやめてバブル経済を収束させ、区民生活を豊かにするために異常な円安と、賃上げによる物価高騰と、インフレをやめるように日銀に提言するべきではありませんか。

日銀は、国の中央銀行としての自主性・独立性が確保されており、中立的・専門的な立場から金融政策を判断し決定していることから、一地方自治体が提言を行うべきではない。引き続き地域経済の活性化と区民生活の安定に向けた施策を着実に進めていく。

SDGsの前に介護・子育て・虐待・不登校・いじめ・ヤングケアラー・貧困・学力格差などへの取り組みを

多くの区民からSDSが出ています。現代はストレス社会であり、暮らしや経営が厳しく、精神的・経済的・身体的に満たされない区民がたくさんいます。先ほど述べたように、区内には様々な重要課題が山積していますので、SDGsやウェルビーイングのよう

にできない夢や理想を追いかける

現在の正規職員と会計年度任用職員のそれぞれの人数、女性の占める割合、65歳未満、勤続年数5年以上の割合は。

2月1日現在、正規職員は2千912名、会計年度任用職員は1千608名である。会計年度任用職員のうち、女性の占める割合は約80%、65歳未満は約65%、勤続年数が5年に達する者は約33%。

雇用の不安をなくすためにも、1年ごとの公募をやめ、継続雇用とするよう求める。

会計年度任用職員の任用手法等については、国の動向なども踏まえつつ、整理・検討していく。

問題だらけのリニア新幹線は今こそ中止を 目黒川酸欠気泡は命の危険、原因究明と教室型説明会の実施を

昨年目黒川に数か月間発生した気泡が酸素濃度4%だと明らかに。区民への丁寧な説明をJR東海に実施させるよう求める。

JR東海からは、皆様の声を真摯に受け止め、今後も泡の状況等を引き続き注視するほか、調査の追加も検討し、ご説明の場を設ける等、皆様にご安心をいただけるよう努めていくとの回答があった。

一般質問 ひがし ゆき 議員 (未来)



医療と福祉の充実(感染症対策)

幅広い感染症による危機に対応できる社会を目指すため、行動計画・予防計画の策定、マニュアルを活用した訓練の実施を求める。

健康危機対処計画は、現在策定中。具体的マニュアルを含んだものとなっている。区の感染症対策訓練や医療機関との訓練において、有効に機能するよう取り組んでいく。新型コロナウイルス後遺症患者に対する支援を求める。区の見解は。

医療機関が患者に寄り添い、診察していただけるよう、医師会等に情報提供を行う。ホームページの視認性については向上を図る。

災害時の情報共有の仕組みの体制整備強化を求める。地域医療連携課を設置。訓練や日

常からの連携等を通じて、あらゆる状況に対応できる体制が整備できるように進めていきたいと考える。

性別や年齢を問わず様々な方が幅広く参加できるような取組を行い、さらなる地域防災力向上に対する支援を期待する。

学生などの防災活動への参画促進、防災区民組織と商店街との連携支援、防災対策の普及啓発の強化により、地域防災力を一層向上させ、助け合いの輪の拡充を目指す。

子どもの権利について

子どもの権利を尊重するため、条例制定など区の方向性を明確に表明する必要がある。区の見解は。

現時点で独自の条例制定は考えていない。子ども計画などを通じて子どもの視点に立った施策を展開し、子どもたちの権利を守る取組を続けていく。

女性支援事業について

女性のウェルビーイング向上のためにも、早い段階での計画策定に一步踏み出すように求める。

品川区ジェンダー平等と性の多様性を尊重し合う社会推進会議の中で、令和7年度策定予定の推進計画にどのような形で取り入れていくか検討をしていく。

性被害・犯罪被害について

日本版DBSを含め、今後の区の考え方・方向性は。

国からガイドラインなどが示された際に、適切に対応していく。

いじめ被害については弁護士への相談など助成される。児童・生徒同士の性暴力被害者救済のための経済的支援については。

いじめを解決するためであれば、性被害であっても費用を助成する。条例化をはじめ、区として支援を強化し、被害者の生活の早期再建を願う。区の今後の展開は。

関係各課で連携を進める。周辺自治体の動向も注視し、被害者支援の取組について十分考えていく。

大井町周辺地区・ウォーカーブルについて

商店街との連携をどう図っていくのか、ウォーカーブルな街づくりによる回遊性の向上、賑わい創出についてどのように考えるか。

周辺の町会や商店街、NPOまちづくり大井、慶応義塾大学SFC研究所とも連携し、社会実験の実施に新たに取り組む、広町地区で生まれる賑わいを周辺地区へ波及させ、ウォーカーブルな街の実現に向け取り組んでいく。

中学生向け防災プロジェクトは、教育委員会から学校への後押しや、防災課と連携を進める事が重要だ。教育委員会と連携していく。助成を利用して防災士資格を取得した皆さんが、地域の防災組織や訓練にも参加していただけるよう、区として両者をつなげる取組を。防災区民組織と顔の見える関係構築、ネットワーク作りを区が支援。

一般質問 おぎの あやか 議員 (無所属)



区の事業を委託する企業について

どういった基準で契約先を決めているか。

原則として一般競争入札により、契約事務規則等で定める手続に則り、事業者を選定している。

選択の際に企業の外資の保有比率も考慮しているか。

契約事務規則に基づく参加資格等に事業者の外資の保有比率は定めていない。

まずは品川区内でお金が循環するように、それが難しいのであれば、日本の企業、日本の株主にお金が回る契約先を考えていただきたい。

区内事業者が履行可能な契約に関しては、区内事業者に対して優先的な受注機会の確保を図っている。予てより提案していたが進捗は。

現在、行政間で災害時における相互協力の協議を進めている。防災面以外の交流も今後検討していく。

品川区の現在の外国人の不動産保有率は。区民の安定した居住のために区としてはどう考えるか。

区内の不動産に対する外国人の保有率については把握していない。区民の住まい確保は、住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への入居促進に向けた取組を進めている。

インバウンドで儲かっている指標とは。羽田新ルート下の区民の生活に負担をかけてまで、果たして日本の利益になっているのか。

インバウンド消費動向調査の統計等を参考としている。羽田空港の機能強化を含む国の様々なインバウンドの取組がもたらす効果や課題と対応策については、国の責任において行うものと考えている。

生活保護を外国人が申請した場合は、海外にある資産や家族などどのように調査を行っているのか。

海外資産の把握はできかねるが、丁寧な調査による適正な処理を行っている。(その他の質問)・教育委員会の人事任命について

一般質問 こんの 孝子 議員 (公明)



育児支援について

リトルベビーハンドブックの作成について。

都のNICU退院支援手帳「のびのび」を活用し、保健師や助産師による寄り添った支援を実施していく。

授乳室での搾乳について。搾乳が必要な方が授乳室を利用しやすいように、搾乳のシンボルマークの掲示など環境整備や周知を工夫する。

妊産婦歯科健診における歯のクリーニングについて。口腔内の状態が悪化しやすい妊産婦に対してクリーニングは有効。課題である受診率向上につながるよう、妊婦面接等の機会を捉え区民への効果的な周知啓発に努める。

若者支援のための組織体制等について。

若者支援のための組織体制等については、アクセスのしやすさや相談のしやすさに重点を置き質の向上を図っていく。メンタルヘルスや孤独・孤立といった多様な課題に、よりの確に臨めるべく、若者に特化した組織体制の在り方を検討する。

若者の住宅支援について。低所得者の若者などの支援の在り方について、まずは若者が抱えている課題やニーズを拾い上げ、区の施策へ反映させていくよう検討を進める。

若者のキャリア支援について。若者が幅広く相談を受けられるよう丁寧な対応や事業の周知を行うとともに、国や都との連携や他の支援機関の周知などに取り組む。

介護サービスとベーシックサービスについて。介護サービスにおけるベーシックサービスの導入について。

ベーシックサービスの考え方を推進していくに当たっては、介護サービスもその対象として考えている。介護ニーズの増大に的確に対応すべく、限りある財源を有効に活用する方策を考えていく。

若者への支援について

木村 健 悟 議員
(未来)



飼い主に恵まれない犬、猫を増やさない為に、現施設の更なる充実、利便性の向上について

問 飼い猫の不妊、去勢手術費の一部助成の情報が行き渡っていない感じがするが、区の考えは。

答 区は人と動物との共生社会の実現を目指し地域における取組を推進している。助成制度についてホームページやポスター掲示などにより周知を図ってきた。今後も効果的な周知・啓発に努めていく。ちよっとした餌やりが多頭飼育につながること知らざるべき。保護される動物を増やさない取組について、区の方針は。

問 野良猫への餌やりは、情報提供時に、職員が現場へ行き餌やりをしている方へ直接お声がけをし、飼い主のいない猫がこれ以上増えないよう個別にお伝えしている。

答 ペットを飼うのは、楽しいことばかりではない。ペットを飼う前にリスクを知らせる啓発を。

問 ペットの飼い主に対してだけでなく、これから飼おうとしている方に向けても、マナー向上について周知・啓発に取り組んでいる。今後は民間企業との連携も含めて検討していく。

問 固定化回避については、国に要望し学校などで拡充などが図られてきている。落下物対策についても国は充実・強化を進めてきた。区としては更なる取組の実施を国に対し求めていく。

問 一日も早い低空飛行ルートの固定化回避の声を上げていきたいと思うが、区の考えは。

答 固定化回避については区民負担軽減につながる具体的な方策の提示とその実施を強く求めたところだ。今後も、次回検討会の開催と、具体的な方策の提示を早期に行うよう国に対し強く求めていく。

安藤 たい作 議員
(共産)



行き詰まりが明らかな「固定化回避検討会」では区民を守れない羽田新ルートの撤回を求めよ

問 昨年末の固定化回避検討会で国から示された案は、A滑走路ルートの固定化と考えるが、いかがか。

答 国は、ルート案が具体的に決まったものではなく、固定化回避に向けた取組を継続するとしている。

問 超高層再開発の推進で苦しむ住民の声を聴き、まちづくりマスタープランは見直しを

問 区長は、再開発に反対する住民と会い、何を感じ、何を課題と捉えたのか。これからも引き続き住民の声を区長自ら聴くことを求める。

答 まちづくりの主体は、そこに住む地域住民であるとの考えを改めて強くした。今後も住民の様々な声に耳を傾けていく。

問 超高層再開発を進めるまちづくりマスタープランは見直しを求める。

答 令和5年に改定しており直ちに見直しには至らないが、今後の改定に際しては住民の声にしっかりと耳を傾ける区の姿勢を反映していく。

問 コミュニティバス大崎ルートを速やかに運行し、住民の交通権保障

問 住民の交通権保障の立場から、大崎ルートの速やかな運行を求める。

答 現在の大井ルートの検証結果等の状況を見極めた上で検討する。

(その他の質問)

- ・能登半島地震から1年、阪神淡路大震災から30年
- ・教訓を生かし防災対策の強化を

西村 直子 議員
(自民)



子育て施策等の区の方針について

問 区が子ども施策を推進することについて、区内の現役世代や高齢者世代など、幅広い世代の理解をどのように得ていくのか。

答 子育て・教育にかかる経済的負担の軽減を進めることは、子育て世帯の可処分所得の増加等につながり、地域経済の活性化、税収増という形で還元される。結果として、高齢者施策を含む各施策を充実するための財源の確保にも寄与する。

問 高齢者施策について

問 高齢者の食の支援に関して、企業と連携した実現に向けて検討を。

答 特に閉じ籠もり傾向のある要介護高齢者等の食の確保と見守りが目的の配食サービスは、高齢化が進む中で非常に重要。今後、民間と連携した提供の在り方を検討する。

問 高齢者の食の支援に関して、企業と連携した実現に向けて検討を。

答 特に閉じ籠もり傾向のある要介護高齢者等の食の確保と見守りが目的の配食サービスは、高齢化が進む中で非常に重要。今後、民間と連携した提供の在り方を検討する。

問 次年度、骨粗鬆症検診の試行実施を行う。施行後早期に男性や全ての高齢者に拡大していくべき。

答 高齢期の骨折等の予防は課題。試行実施の結果も踏まえ、国民健康保険加入者以外にも対象者を拡充し、区内の各医療機関での本格実施に向け検討する。

問 不登校対策について

問 外部資源の活用、一歩踏み込んだアウトリーチ型支援の拡充を。

答 HEARTSのより早期の介入、不登校を未然に防ぐ体制充実について検討する。

問 マイスワール八潮で昼食提供を開始する。学校に通えていければ給食費無償化の恩恵を受けられるのにという保護者の思いもある。不登校の子どもの食の支援を。

答 不登校児童・生徒が外部とつながることが大切。どのような支援・アプローチが可能か検討する。

問 こども家庭庁での多様化がでる環境をどうつくりたいのか

答 区内のプレーパークや児童センターと連携し、回復期に子どもたちが元気を取り戻す取組を。児童センターでは不登校児童の積極的な受入れも行い、自分らしく成長できる居場所等の充実を図る。

やなぎさわ 聡 議員
(無所属)



問 介護の周辺業務等の体験支援や「ふくむすび」で発信をしている。

答 ①介護の周辺業務等の体験支援や「ふくむすび」で発信をしている。②ヒアリングを引き続き実施する。③人手不足の解決策として外国人人材を積極的に受け入れている。

問 介護の話

問 ①訪問介護の報酬が引き下げの影響もあり昨年の介護事業者の倒産件数は過去最多。介護事業者を人材確保の観点で支援する取組として、事業者と介護従事者をマッチングする「福祉人材バンク」を創設しては？②年に一度でも区長と中小の介護事業者との懇談会を開催し現場の声を聞いてくれないか？③来年度予算の新規事業に外国人介護人材の就労支援を盛り込んでいるが、人手不足を低賃金の外国人労働者で補うことは賃金の下降圧力となり、この国で働く介護従事者を低賃金競争に巻き込むルールに則り来日する技能実習生等に一切の罪はないが、この国で働く介護従事者の処遇改善を最優先にする姿勢を示してほしい。

問 ①昨年の倒産件数は1万6件と前年比15%増、11年ぶりに1万件を超えた。物価高が落ち着く気配はなく、倒産が危ぶまれる職種は多岐にわたる。地元の商店街、区内の中小零細企業やフリーランスの経営状況はかつてないほど深刻な状況に陥っている。区は現在の景気を悪いと考えるなら大胆な対策を講じるべきと考えるがどうか？

答 ①景気は緩やかに回復しているが先行きに懸念材料もある。プレミアムつき区内共通商品券事業や、設備更新助成を実施している。②国が行う調査(時期は未定)の結果や国の動向等を把握していく。

(その他の質問)

- ・ルート直下にお住まいの6割強が影響を受ける羽田の話
- ・命の話

予算特別委員会

予算特別委員会は3月4日から21日のうちの計8日間にわたり令和7年度予算および令和6年度補正予算の審査を行いました。最終日の3月21日には、令和7年度予算について、各会派を代表して11人の委員が各会計歳入歳出予算の全般にわたり総括質疑を行いました。

その後、各会派より意見表明を行い、採決をしました。(各会派の意見表明は10～11ページに掲載)

総括質疑における質問の項目は、以下のとおりです。

〈総括質疑〉

せお麻里委員(自民)

予算編成(力を入れたポイント等)、学校給食、放課後等デイサービス(事業の充実に向けた区の取組等)について

こしば新委員(自民)

給付型奨学金と地域防災(奨学金受給の条件等)、デジタル商品券、広町地域を含んだ大井町のまちづくりについて

ゆきた政春委員(公明)

火災被災者への支援体制、空洞調査、旧荏原第四中学校跡地活用(学習スペース・防災機能の確保等)について

新妻さえ子委員(公明)

給食費の無償化(対象拡大等)、高齢者まるごと支援、スフィア基準に準じた避難所整備とマンション防災について

山本やすゆき委員(未来)

財政と新庁舎(現在想定している金利水準と利払い額等)、中学校標準服無償化(一括購入に向けた課題等)について

吉田ゆみこ委員(未来)

政策決定プロセス(事業内容変更の背景、各当事者・事業者の意見の反映、政策提案での議会の関与等)について

のだて稔史委員(共産)

施政方針(国の抱える構造的な課題等)、財源、更なる提案(移動教室の無償化検討等)、再開発事業について

石田ちひろ委員(共産)

同和問題、ジェンダー平等、会計年度任用職員、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、ユースヘルスケア等について

藤原正則委員(品改)

西大井(喫煙所整備、平和の花壇、駐輪場増設等)、介護予防、介護職員の処遇改善、都区財政調整交付金について

筒井ようすけ委員(品改)

有機農産物等(食材の一括購入への課題等)、羽田空港アクセス線、東八潮の利活用、羽田新飛行ルートについて

せらく真央委員(維新)

官民連携、周産期グリーンケア、学校給食、公務DX(教員のテレワークの環境整備等)、学用品の無償化について

特別委員会の活動

1月～3月

1月から3月末までの委員会の主な活動は次のとおりです。

行財政改革特別委員会

1月21日 「行政のデジタル化に関すること」をテーマに調査・研究

2月27日 「新庁舎に関すること」、「財源・事業の評価に関すること」をテーマに調査・研究



災害・環境対策特別委員会

1月22日 「防災に関すること」をテーマに調査・研究
報告4件(トイレトラックの導入など)について質疑

2月28日 「環境に関すること」をテーマに調査・研究
陳情審査1件
報告1件(エコルとごし 大型企画展「草木の恵みと布のものがたり」の開催)について質疑



厚生委員会

1月20日 陳情審査1件
報告2件(品川区立八潮在宅サービスセンターおよび品川区立八潮わかさ荘ほか6施設の指定管理者候補者の公募など)について質疑

「災害医療について」をテーマに調査・研究

2月25日 議案審査19件

請願・陳情審査3件

2月26日 報告3件(国保財政健全化計画など)について質疑



建設委員会

1月20日 報告4件(品川区水辺利活用推進計画(素案)に係るパブリックコメントの実施など)について質疑

「住宅に関することについて」をテーマに調査・研究

2月25日 議案審査5件

請願・陳情審査4件
報告1件(専決処分報告)について質疑

2月26日 報告6件(区営自転車等駐車場短時間無料設定の実施など)について質疑



文教委員会

1月20日 報告4件(自閉症・情緒障害特別支援学級の新設など)について質疑
「児童・生徒の学校生活のサポート体制について」をテーマに調査・研究

2月25日 議案審査9件

請願・陳情審査2件

2月26日 報告9件(品川区子ども読書活動推進計画(令和7年度～11年度)の決定など)について質疑



常任委員会の活動

1月～3月

1月から3月末までの委員会の主な活動は次のとおりです。

総務委員会

1月20日 報告3件(第26回品川区世論調査など)について質疑

「都市ブランディングについて」をテーマに調査・研究

2月25日 議案審査17件

請願・陳情審査4件

2月26日 報告11件(こみゆにていぶらぎ八潮太陽光発電設備新設工事請負契約など)について質疑

3月26日 議案審査2件

区民委員会

1月20日 報告4件(しながわシティランの開催に向けた進捗など)について質疑

2月25日 議案審査2件

請願・陳情審査5件

2月26日 報告1件(八潮みらいコンセプトの策定)について質疑



迷惑行為への対処について

SNSや電子メール、電話または対面による、議員への迷惑行為に対しましては、議員の活動および生活を守るために、厳正に対処いたします。

議員に対する誹謗中傷、脅し、なりすまし、ハラスメントなどの迷惑行為が確認された際には、警察その他関係機関と連携の上、刑事告訴、損害賠償請求等の法的措置も視野に入れてまいります。

品川区議会では、議員のコンプライアンスも含め、議会アドバイザー（弁護士）と連携し、適切な議会運営に努めてまいります。

品川区議会

本会議・委員会の日程（予定）

令和7年第1回臨時会は5月27日の1日間、第2回定例会本会議は6月26日から7月10日までの15日間の会期で開催される予定です。

会議名		開催日時
本会議	第1回臨時会	5月27日（火）午後1時
	第2回定例会	6月26日（木）午後1時 6月27日（金）午前10時 7月10日（木）午後1時
常任委員会	総務	5月12日（月）午後1時 6月30日（月）午前10時 7月1日（火）午前10時
	区民	
	厚生	
	建設	
	文教	
議会運営委員会		5月15日（木）・5月21日（水）午後1時 5月26日（月）・6月25日（水） 7月9日（水）午前10時30分
特別委員会	行財政改革	5月13日（火）午後1時
	災害・環境対策	5月14日（水）午後1時

*本会議は区議会ホームページでインターネット生中継をしています。また、本会議終了後おおむね1週間後に、インターネット録画中継でご覧いただけます。



区議会だより アンケートのご協力 ありがとうございました

区議会だより第308号などで募集したアンケートにつきまして、計170件の回答をいただきました。貴重なご意見、まことにありがとうございました。いただいたご意見は、今後の区議会だよりの改善に役立ててまいります。

集計結果の概要はこちら

